

ホイールアライメント&ADASキャリブレーションフレームシステム

MaxiSys ADAS IA1000WA

IA1000WA

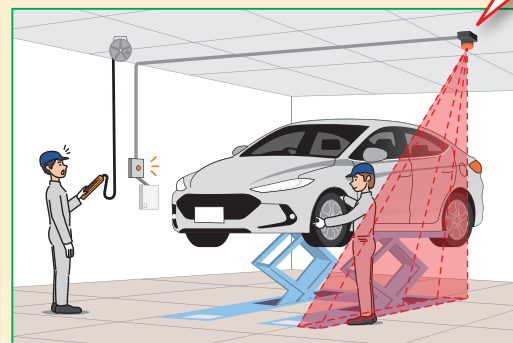
- 故障診断、エーミング作業、ホイールアライメント確認調整の3つの機能が1台で可能
- 自動ターゲット表示機能付きデジタルターゲットパネル搭載
- システムを所定の位置に配置し、ワンタッチでキャリブレーションを開始可能
- 光学カメラ+自動レーザー誘導により、床面設置ターゲットの位置決めが簡単



リフト挟まれ防止センサー

ALB-L(P)

- 操作者の死角(検知エリア)にいる人や物(作業台やタイヤ)などをセンサーで検知
- 検知中は制御ユニットの表示ランプが点灯し、リフト下降を停止
- 既設リフトへの取り付けが可能※

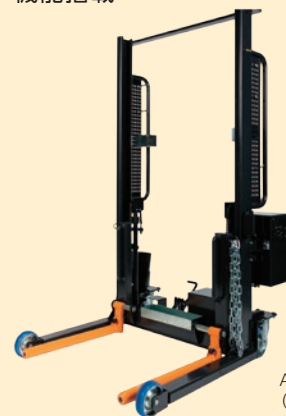


※詳細は最寄りの支店・営業所までお問い合わせください

大型タイヤリフター

AWD-400AH(エア式)/EH(電動式)

- 立ち姿勢のままタイヤを脱着し、フロアまで降ろして保管が可能
- タイヤサイズに合わせフォークをスライドできるフォーク幅スライド機能搭載



AWD-400EH
(電動式)

CHARGE

新商品のご紹介 P.12

MaxiSys ADAS IA1000WA

リフト挟まれ防止センサー ALB-L(P)

大型タイヤリフター AWD-400AH(エア式)/EH(電動式)

2025
Autumn
VOL.
109

USER REPORT 小型 P.02

ロッソ・スクーデリア株式会社 サービス 東京ベイサイド



WASHMAN FOR TRUCK



洗車は、科学で進化する

スポーツ科学と現場の声が融合した、トラック専用手洗い洗車ツールのご紹介 P.10

USER REPORT 大型 P.06

株式会社 大平機械



TOPICS OBD検査は新たな段階へ

■ 輸入車のOBD検査がスタート! ■ OBD検査に使用する端末はWindows 11への移行を

自動車の自己診断機能(OBD II)を通じて、主に電子制御装置の検査を行うOBD検査がスタートし、1年が過ぎました。そして今年の10月1日(水)からは輸入車のOBD検査も始まりました。輸入車のOBD検査対象車は2022年10月1日以降に販売された新型車(フルモデルチェンジ車)です。

今後は輸入車の車検入庫がある際は、念のためOBD検査の要否確認の実施を行うことが望ましいといえます。なお、これに伴い2025年9月30日(火)をもちまして輸入車のプレ運用も終了し、OBD検査の練習は行えなくなりますのでご注意ください。

また、OBD検査に用いる端末(PCやタブレットなど)のOSについて国土交通省より注意喚起が行われています。Microsoft社のWindows10は2025年10月14日(火)でサポートが終了することに伴い、今後「特定DTC照会アプリ」などが使用できなくなる可能性があります。国土交通省はOBD検査にWindows10を搭載した端末を使用しているユーザーに対して、10月14日までに端末のOSをWindows11に移行するよう呼び掛けています。OBD検査に使用している端末を今一度ご確認ください。

輸入車の OBD 検査

スタート：2025年10月1日(水)
対象車：2022年10月1日以降に発売された
新型車(フルモデルチェンジ車)

バックナンバーは「WEB CHARGE」に掲載しております。お時間のある時にぜひご覧ください！

ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
安全自動車株式会社 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154)24-0161(代)
釧路営業所 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)
仙台支店 仙台市水川町2-8-31 TEL(029)355-2725
盛岡営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(025)382-5815
盛岡支店 東京港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)
盛岡支店 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)
金沢営業所 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(078)265-0375(代)
大津支店 神戸市東灘区東灘3-7-7 TEL(082)832-3630(代)
大津支店 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)
南九州営業所 (株)松本安全 松本市大村383-11 TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索 <https://www.anzen.co.jp>

●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25
●ANZEN NEWS CHARGE 109号 (2025年10月発行)
※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! >>>>
ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT

ANZEN
安全自動車株式会社



ロッソ・スクーデリア株式会社 サービス 東京ベイサイド

新旧フェラーリを安全・高効率に整備でき 最新CIにも合致した大規模サービス工場



店舗情報

ロッソ・スクーデリア株式会社
サービス 東京ベイサイド
東京都江東区辰巳2-4-10
TEL：03-5534-5802
従業員：
21名(メカニック11名)
敷地面積：
2,645平方メートル



今回お話を伺った方



サービス 東京ベイサイド
サービスマネージャー
高橋 輝彦 様



マーケティング&
デジタルマネージャー
加藤 久貴 様

東京都港区六本木にショールームを構えるロッソ・スクーデリアは2009年に創業されたフェラーリ正規ディーラーです。

当初、サービス工場は東京都目黒区碑文谷に構えておりましたが、「年々お客様の数が増加し、特にコロナ禍以降はその勢いが加速しました。その結果、碑文谷の工場だけでは対応が難しくなったため、新たにお客様を受け入れる専用のサービス工場を東京都国立市内に開設いたしました」(高橋マネージャー)。

「当社は世界的に見ても有数の規模を誇るフェラーリディーラーであり、3～4年に一度の頻度でアップデートされる最新のCI(コーポレート・アイデンティティ)に準拠したサービス工場が求められます。また、六本木にショールームがありますので、お客様にお越しいただいてもストレスのない場所に作る必要がありました」(高橋マネージャー)。

その結果、従来の碑文谷と国立を移転・統合する形で2025年10月1日に誕生したのが、「サービス 東京ベイサイド」です。

新工場は湾岸エリアの埋め立て地にあり、かつ以前はトラックヤードだったため、高い床面をほぼそのまま残すという制約のもと改修する必要がありました。

しかしながら、細部にまで美観にこだわりつつ、最低地上高が低く

全幅が広いスーパースポーツカーやレーシングカーを安全かつ高効率に整備可能な機器類を兼ね備え、非常に厳しいフェラーリの最新CIにも合致した、総計17ペイの大規模サービス工場となっています。

出入口には専用設計のエントランスカーリフトが設けられるとともに、上った先にはターンテーブル付き納車スペースと受付カウンターでお客様をお出迎え。

その奥の待合室には、フェラーリ車の内装と同じポルトローナ・フラウ社製の本草を用いたソファなどを備え、最上級の憩いの場としています。

そして非接触式ホイールアライメントテスター“ARGOS”を、“お客様の目に見える場所に置いて信頼を獲得すべく”、整備エリアに入ってすぐの場所に設置。「高額なカーボンホイールを装着する車両もある中でターゲットを各輪に取り付ける必要がないうえ、作業サイクルが極めて短く、新旧フェラーリ各車に幅広く対応できる」(高橋マネージャー)のが導入の決め手だったといいます。

「今後メカニックを増員できればさらなる設備の拡充も計画する」(高橋マネージャー)という同工場。すでに同業他社が見学に訪れるほどで、今後さらに注目を集めることでしょう。

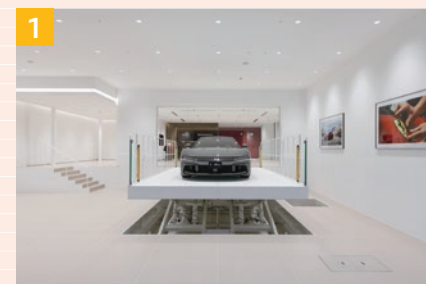
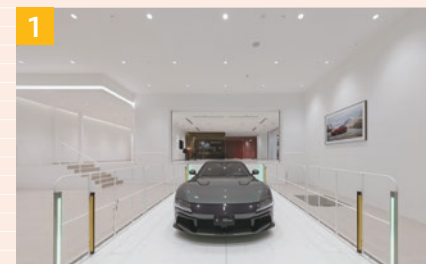
営業担当者のココがポイント！

フェラーリ正規ディーラーとして、国内およびアジアでも最大規模を誇るサービスセンターのプロジェクトに携わらせていただきました。最新のCI(コーポレート・アイデンティティ)に準拠し、最先端の機器を導入することで、メカニックの皆様が最高のサービスを提供できる環境を整えたサービスセンターが完成いたしました。今回、特注のエントランスカーリフトは一から設計し、安全性を確保しながらも、エントランスの外観と調和するよう、シンプルかつスタイリッシュなデザインを目指して試行錯誤を重ねました。今後とも、ロッソ・スクーデリア株式会社様のお役に立てるよう、そして最高のサービスをご提供できるよう、努めてまいります。

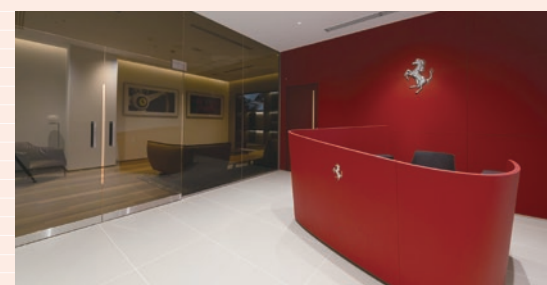


左：東京支店 新居 右：サービスマネージャー 高橋様

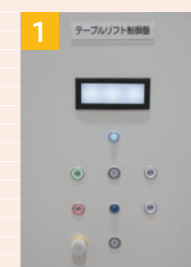
受付／待合室



◀▲地上より約1m高い工場フロアに対応すべく“エントランスカーリフト”を設置。天面や落下防止柵のみならず床下の菱形リンクも白に塗装して、美観を最大限追求



◀▲工場フロア側出入口に設けられた、ターンテーブル付きの納車スペース。その奥、右側には受付カウンター(下)、左側には待合室がある



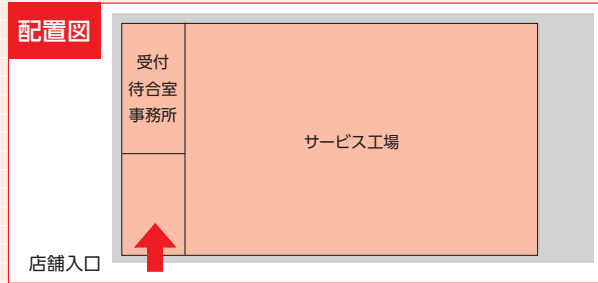
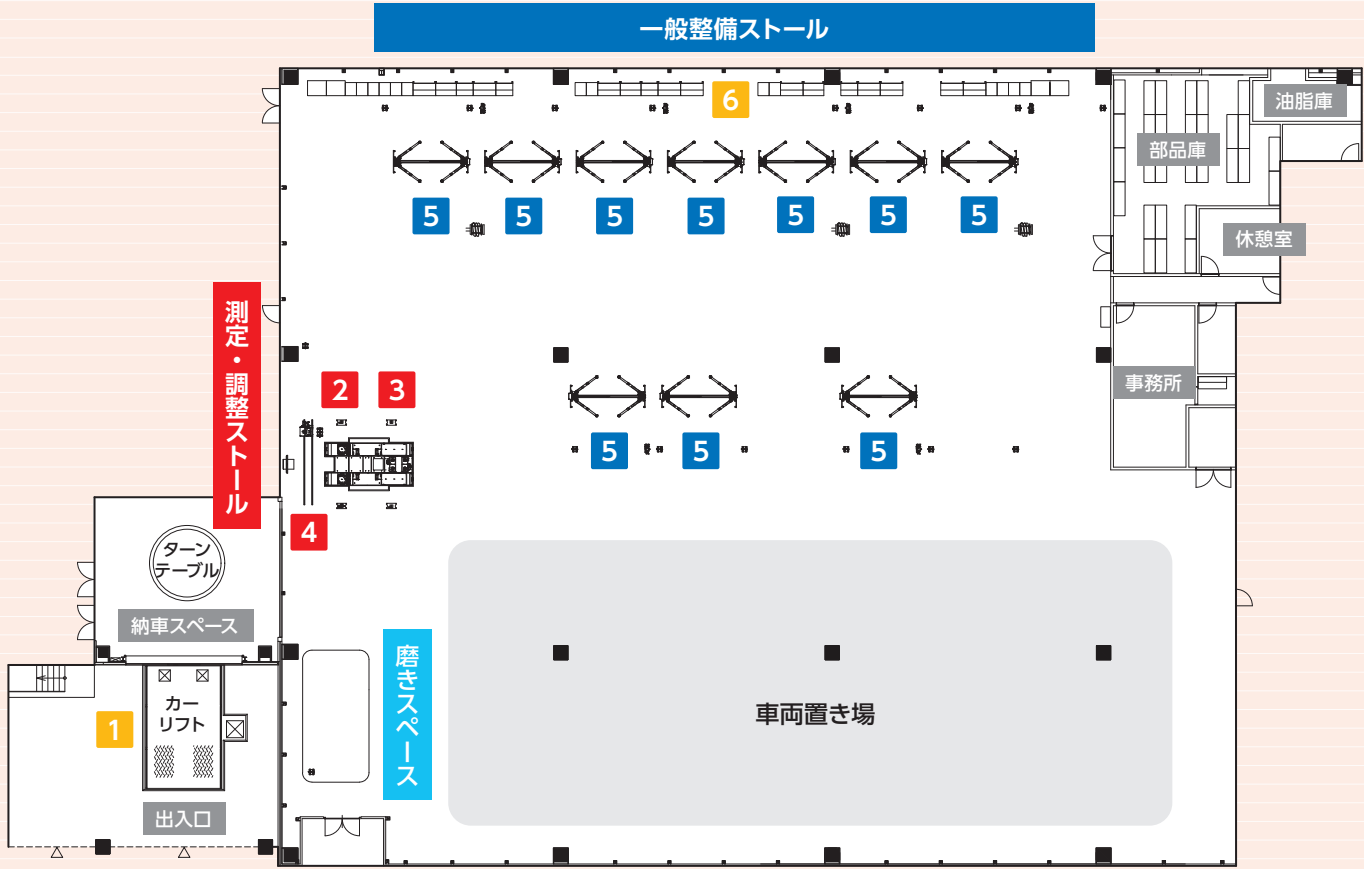
◀▲“エントランスカーリフト”には車両センサーで車内からも確認しやすいLED信号を設置し事故を未然に防止。制御盤もLEDライト付きの特注仕様



◀本革ソファをはじめ、フェラーリゆかりの品を多数揃えた待合室。チタン製ホイールポルトや純正バッテリーチャージャーなど、クルマ好きの心をくすぐるアイテムも

図面でわかる！
ここがポイント！

スーパースポーツカー特有の構造に合わせて
損傷リスクを最小化する機器類を積極的に導入



- 1 エントランスカーリフト×1基
 - 2 タッチレスアライメントテスター ARGOS (FULLタイプ) ×1基
 - 3 マルチアライメントリフト ※特注3.5tタイプ×1基
 - 4 カラー画像処理方式 手動ヘッドライトテスター (HLI-223) ×1基
 - 5 門型リフト ※特注幅広3.2tタイプ×10基
 - 6 専用キャビネット×26台
- その他 2連リール×17基／3連リール×1基／
オイルリール×6本／排気リール×3本



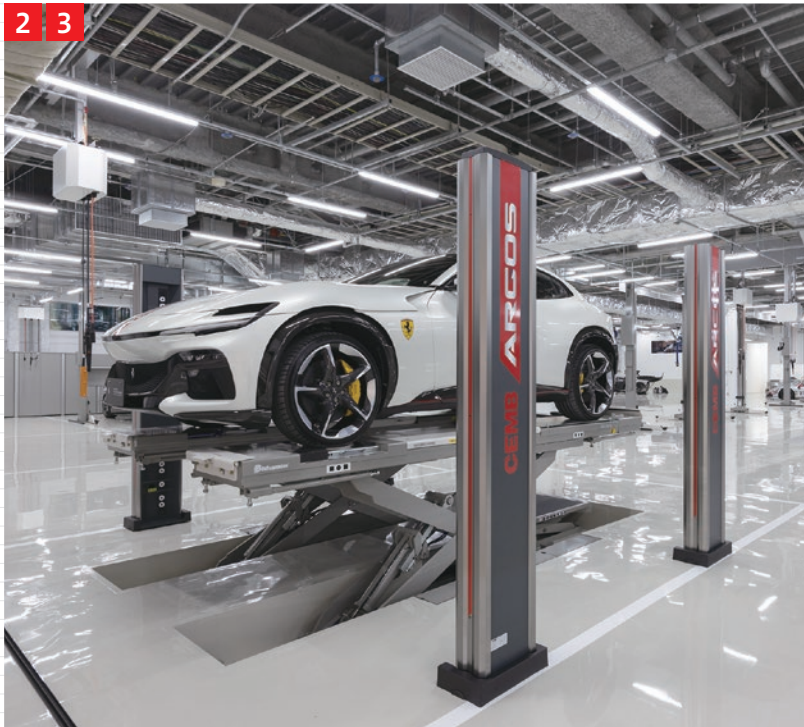
このページに
掲載している
機器のカタログを
ご覧いただけます



▲フェラーリ指定のライトグレーで塗装された専用キャビネット。随所に隙間を設け、入庫車両から取り外したアンダーカバーなどの大きな部品の保管場所に



◀オイルリール（右側）をリフト2基ごとに1本配置し、オイル交換の作業効率を高めたつ床の汚れを防止。電動車対応も見据えて高電流（20A）の「コードリール」（右から2番目）も設備



◀▲“ARGOS”は納車スペースから見える場所に配置され、お客様からの信頼獲得にも寄与。“マルチアライメントリフト”は電動車対応を見据え能力を3.5tにアップ



▲2列に整然と配置された10基の特注の幅広仕様の“門型リフト”。アンダーカバーが車体下面全体に装着された車両でも安全にリフトアップでき、かつドアの開閉時も気にすることなく作業に集中。先端が薄い3段式アームを採用



◀光軸調整等のためカラー画像処理方式の手動ヘッドライトテスター“HLI-223”を導入



▲磨きスペースにはビニールカーテンを設置しコーティング施工時などのホコリ付着を低減



▲低床仕様立体駐車場を導入した車両置き場は整備ストールと区別すべく床を未塗装に



株式会社 大平機械

建設機械の販売・整備のエキスパート事業者が大型車部門を拡充 輸入車販売の指定工場として県下随一の大型工場を新設



店舗情報

株式会社 大平機械
沖縄県中頭郡西原町字小那覇1288
TEL：098-945-7272
従業員：
42名（メカニック26名）
敷地面積：
9,221.72平方メートル



今回お話を伺った方



代表取締役
平良 太樺子 様



サービス部
車検フロント
部長
喜納 雅之 様

沖縄県が日本に返還される4年前の1968年、建設機械の賃貸業からスタートした株式会社大平機械は、「親切・感謝」をモットーに業績と業容を拡大してきました。建設機械の販売・整備への展開では、各建設機械メーカーの指定工場に、さらには大型車の車検・点検を含めた自動車整備へと拡充を図っています。2021年には、創業者の平良政治氏（現取締役会長）から平良太樺子氏に事業を承継、同社は次代への新しい一歩を踏み出しました。ちょうどその頃、スウェーデンのトラック・バスメーカー、スカニアの大型車を業販したことで、同社はスカニアのサービス工場に指定されました。そして2024年6月にスカニアの正規販売店となったことで、サービス工場の新設に至ったのです。スカニアの指定工場規定に則った工場づくりを進めるとともに、メカニックとして大平機械に入社した平良社長は「機能性と美観を重視した明るい整備工場に」との思いを込めました。熱い思い入れを集約した新工場は、2025年4月25日より稼働を開始しています。

大型車部門をさらに拡大

同社における建設機械と大型車の売り上げ構成は9対1で推移しており、平良社長は「大型車部門をさらに伸ばしていきたい」との将来ビジョンを掲げています。スカニアとの正規販売店契約をその足掛かりとし、サービスと販売の両輪で大型車部門を拡大していく考えです。

新整備工場には、「ツインパワーリフト」の4柱タイプを2基導入しました。喜納部長は「トレーラーの入庫が多くフルトレーラーも入庫するため、4柱タイプがより効率的に整備できると考えました。また前後縦列で整備するシーンも想定しています」と作業効率とメカニックの負担軽減の重視が導入理由だったと述べています。また、同様の理由から「ホイールドーリー」12基を導入しました。ホイールドーリーはタイヤの回転が可能でボルトの位置合わせが楽に行える、回転フォーク仕様です。整備を経験した平良社長の思いが伝わります。

“ラインマスター”の導入で車検業務を強化

同社の年間の入庫台数は現在1,300台。このうち車検は500台実施しています。今後、入庫の増加を見込むとともに、OBD検査などの実施が本格化するにつれ、検査の複雑化が予想され、車検業務の効率化とコンプライアンスは同社にとっての課題となっていました。とりわけ、大型車の検査基準は複雑であり、検査時のヒューマンエラーが生じる可能性は否めません。トータル車検システム“ラインマスター”の導入によりコンプライアンスの強化と作業効率の向上が図られ、車検品質をさらに高めることで、大型車部門の強化に繋げていく構えです。

事務所/サービス工場



▲建設機械の整備工場（左側）の正面に新工場を竣工（右側）



▲スウェーデンのバス・トラックメーカー、スカニアの指定工場として機能する新設工場



▲3,000坪の敷地面積を有する事業所入口には守り神シーサーがお出迎え



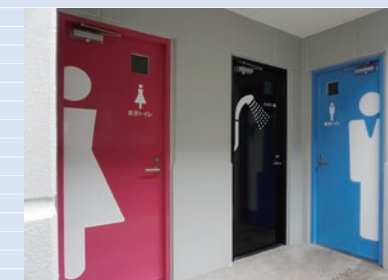
▲5Sが行き届いた事務所内の様子



▲多数の建設機械が連なり、迫力満点



▲台風対策としてシャッターの中心に支柱を建てるのは沖縄では標準



▲女性メカニックがいつでも採用できるようにと平良社長の思いで女性も働きやすい環境に改善



▲トータル車検システム“ラインマスター”を導入。コンプライアンスと生産性向上を両立

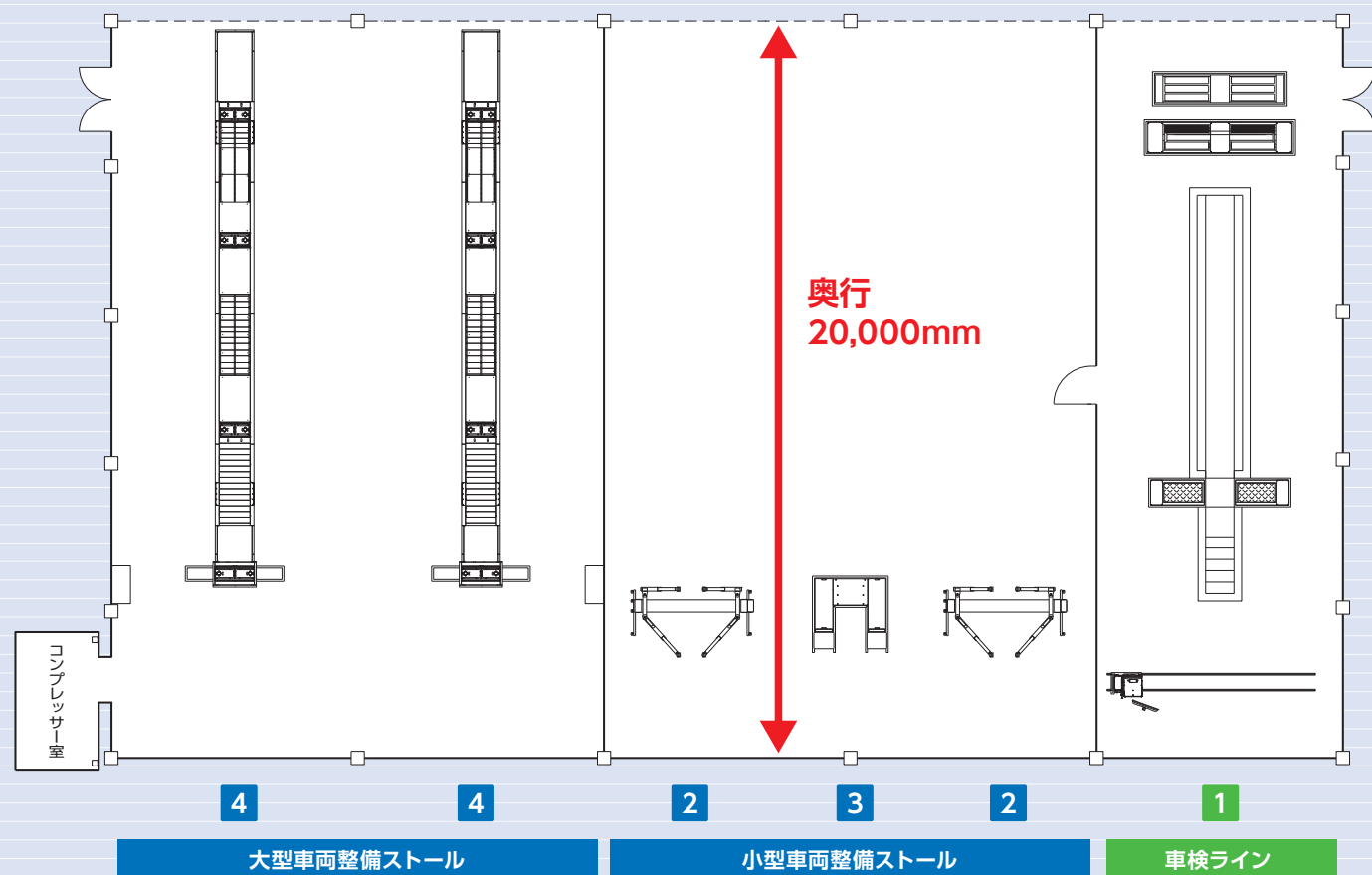


▲検査ライン前のヘッドライトテスターは検査ラインへの入庫が難しい大型建設機械用。そのためライン手前は広大なスペースを確保



図面でわかる！
ここがポイント！

多種多様な車両の入庫を想定した最新設備を導入



- 1 車検ライン
(ラインマスター+大型BSテスター+サイドスリップテスター+手動式カラー画像処理方式ヘッドライトテスター+大型フリーローラー)
- 2 2柱式リフト (OSP25) ×2基 (移設)
- 3 パンタ式トータスリフト (BSC32KU)
- 4 4柱式ツインパワーリフト (TWPF601N) ×2基



このページに掲載している機器のカタログをご覧ください



建設機械
整備工場

事務所棟

自動車
整備工場

販売会社担当者のココがポイント！

大平機械様とは当社創立以前からのお得意様でして、40数年のお付き合いになります。平良社長におかれましては、これまでの整備環境を見直し、作業効率を計りたい思いから今回新規工場の実現に至りました。これからも、営業フォローはもちろんの事、アフターサービスについても全力を尽くしサポートしてまいります。(有限会社エムケイ商事 喜屋武 浩様)

安全自動車担当者のココがポイント！

大型車の入庫が多く、限られたストールの中でより作業効率よく整備できるよう4柱ツインパワーを2基導入して頂きました。トレーラーなど車両が長い車の整備、ホイールベースが短い車両は縦列で整備し、幅広く活用して頂いております。今後も安心して機器をご使用して頂けるようエムケイ商事様と協力してしっかり対応いたします。(沖縄営業所 垣花)



左：代表取締役 平良様、左中央：部長 喜納様
右中央：エムケイ商事代表者 喜屋武様(販売会社)
右：沖縄営業所 垣花



▲検査ラインを含めて全6 ストールを配備。特殊車両の入庫を想定し、高さとお行をしっかりと確保



▲天井高さ9.524m。高さのおかげで風通しも良い



▲以前の工場ではリフトを導入しておらず、整備の生産性向上を実感



▲4柱式ツインパワーリフトのメリットである縦列整備を積極的に活用



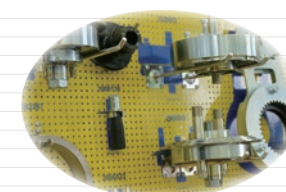
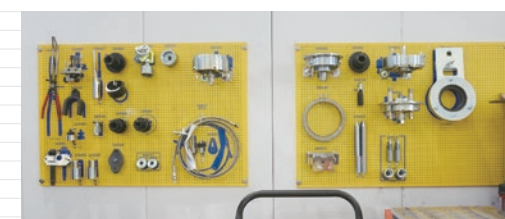
▲小型トラックの整備用として“トータスリフト”(中央)を新たに納入。リフト手前でも特殊車両の整備ができる広さ



▲12基の“ホイールドローリー”は回転フォーク仕様。ボルトの位置合わせも楽々対応



▲明るい工場づくりの一環として床面のカラーはクリーム色を採用



▲パンチングボードにはスカニアの指定工具。ボードにイラストを記載して工場美観をキープ



WASHMAN FOR TRUCK

大学との共同研究を経て開発した トラック用洗車省力化ツール スピード&快適さを両立する洗車の実現で トラックの手洗い洗車文化を創造

洗車で物流 2024年問題の是正へ

「オートサービスショー2025」において弊社ブースで実演し、大きな反響をいただいた同製品がついにリリースされます。近年、門型洗車機を導入する需要が高まる中、スペースやコスト面で導入が難しい事業者でも「WASHMAN FOR TRUCK」があれば、楽チン、スピーディーにトラック洗車が可能です。また、「WASHMAN FOR TRUCK」は物流問題の解決をお手伝いするとともに、トラックの手洗い文化の創造を目指す洗車ツールです。

「WASHMAN」を製造する株式会社本荘興産の平井新一社長は製品開発の背景について「トラックドライバーは長時間労働の中で、洗車を行うのが常です。乗用車の洗車は洗車時間に一定の指標がありますが、トラックの洗車には指標はなく、また問題視されていない状況があり、それがドライバーの長時間労働の一端を担っている可能性があります。弊社では洗車の視点から物流の2024年問題にアプローチしたいとの想いがありました」と説明します。さらに「このツールにより、トラックの洗車が注目されて、ドライバーの働き方を変えるきっかけになってほしい」との想いも込められています。

身体負担を半減し洗車時間は1/3に

また、「WASHMAN FOR TRUCK」は、作業者の身体的軽減を徹底的に追求した開発を行いました。その主体となったのが、きらめき岡山創成ファンド事業のプロジェクトとして、同社の地元岡山県にある環太平洋大学との共同研究です。「洗車もスポーツ」という仮説の元、筋肉の動きや酸素濃度、消費カロリー、肺活量などの試験を実施、従来型の洗車モップと比較したデータを取り入れた製品開発により、従来型の腕の力に頼った洗車モップではなく、体全体を使った効率的な洗車を実現するトラック専用の洗車モップが完成しました。試験結果では身体負担は57%軽減、洗車時間は62%短縮するデータが示されました。

「適正な洗車方法を実践していただければ 10t トラックで約30分、4tトラックで約20分にて洗車が完了できると想定しています」と平井社長。トラック洗車の大幅な時間短縮が実現します。

一方、トラックのアルミパンの各面を効率的に洗車するた



実験結果

被験者	A 20代男性		B 40代女性		C 60代男性	
測定項目	WMT	Normal	WMT	Normal	WMT	Normal
洗車面積(面)	8.3	5	7.3	3	8	6.6
心拍数(bpm/面)	11.43	20.59	17.96	51.79	13.75	17.64
酸素摂取量(ml/kg/min/面)	1.31	2.25	2.11	4.45	2.68	2.93
エネルギー消費量(kcal/面)	6.53	11.96	10.21	22.27	12.35	13.83

WMT=トラックモップ Normal=市販モップ

めに専用の「カートキット」も開発されました。

『「カートキット」を使用することで、水道とホースさえあれば、洗車場に移動しなくても洗車が可能です」と平井社長が語るように「WASHMAN FOR TRUCK」にはどこまでも楽チンでスピーディー、誰にでも洗車が可能という製品設計が貫かれています。

『「WASHMAN FOR TRUCK」を設備することでドライバーのリクルーティングなど人材戦略にも活用できると考えています」と平井社長。「WASHMAN FOR TRUCK」はトラック洗車の概念を塗り替え、新たな物流経営の再構築を提供します。

今回お話をうかがった方



株式会社本荘興産
代表取締役
平井 新一 様

1974年、岡山県倉敷市生まれ。大阪の音楽系専門学校を卒業後、北海道の自動車美容専門店にて現場経験を積む。1999年に本荘興産に入社し、2014年より現職。省力化をテーマにした洗車ツール「ウォッシュマン」を開発。洗車ビジネスに関するセミナー講師を務めるほか、クライアント企業の実業支援にも力を注いでいる。

現在、月刊整備戦略にて「整備工場の「未来」設計図」と題し、コラムを連載中。



WASHMAN FOR TRUCK

洗車は、科学で進化する。

スポーツ科学と現場の声が融合した、 トラック専用手洗い洗車ツール。

IPU・環太平洋大学との共同研究により、トラック専用の洗車モップを開発しました。従来型の洗車モップのように腕の力に頼るのではなく、体全体を効率的に使い、楽チン・スピーディーに洗車することができます。



産学共同研究で開発

スポーツ科学と現場の声を融合し、科学的根拠に基づいた効率的な洗車を実現。



身体負担を約57%削減

腰や肩への負担を減らし、スタッフの健康維持と作業意欲をサポート。



脚立いらずで安全性向上

3.8mまで届く設計で脚立作業を不要に。転倒リスクを減らし安全管理を強化。



手軽に泡ムートン洗車

専用シャンプーとモップで、誰でも簡単に「プロ品質」の仕上がり。



手洗い時間を約62%短縮

効率的な洗車作業をアシストするツールで、洗車時間を大幅に短縮。



洗車の平準化でコスト削減

誰が作業しても均一な仕上がり。ムダな洗剤や水を減らし、経営コストを圧縮。



WASHMAN公式WEBで
実際の洗車風景の動画が観れる！

WASHMAN
www.washman.biz